

心の原風景 —我が母校—

佐渡市立七浦小学校

七浦小学校は、いつも地域の方々や保護者の皆さんと共に歩んでいる学校です。

1・2年生の生活科で、地域を案内してくれるのは、地域をよく知る名人達です。ときには、山菜と一緒に採って料理したりすることもあります。近くの畑で、子どもたちと一緒に収穫体験をさせてくれるのも、野菜づくりの達人です。

地域の皆さんは、普段の仕事のほかにも、もう一つの顔をもっています。陶芸家に芸能家、作家に花づくりと、多趣味です。



地域の方の畑でサツマイモほり



民謡クラブの演奏で踊る七浦甚句

ユニークな課外活動があります。民謡クラブです。6年間で唄や三味線、和太鼓の演奏ができるようになります。その講師もみんな地域の方々です。運動会や夏祭り、文化祭や相川芸能祭で披露しています。昨年は、佐渡で行われた国際会議のアトラクションで演奏をしました。

保護者の方々の熱意もすばらしく、PTA総会では、世帯の数より多い人数が集まります。草取りなどの奉仕作業を行うと、一家総出で応援してくれます。登山やバザーなど、各種行事のボランティアを募集すると、多くの方が参加してくれます。先日のマラソン大会では、子どもと並走しながら声援してくれました。

地域や保護者の皆さん誰もが、気軽に、子どもたちの活動を応援してくれず。地域と保護者と学校が一体となって進んでいく七浦小学校です。

◆教育委員会学校教育課(両津支所内)
☎23-4898

姉妹都市をたざねて

10月23日・24日の「第32回入間万燈まつり」、11月7日の「第27回国分寺まつり」に佐渡市が参加しました。

入間万燈まつり(埼玉県入間市)

佐渡全島に部員を有する「佐渡商工会青年部協議会」が中心となった「佐渡物産通り実行委員会」が、海産物やおけさ柿、沖汁、さざえ飯などを販売し、佐渡産品のPRを行いました。

毎年好評を得ているおけさ柿の販売コーナーには、多くの客で大行列ができ、佐渡から持ち込んだ5万個の柿が終了時間前に完売しました。

芸能では「両津しぐれ会」と「北田野浦花笠踊り保存会」が参加しました。北田野浦花笠は、万燈まつりで初めて披露され、入間市民から注目を集めました。また、「両津しぐれ会」は、けやき通りを舞台に、「入間市の民謡団体と「おけさ流し」で共演し、多くの見物客を魅了しました。

国分寺まつり(東京都国分寺市)

今年「片野尾歌舞伎保存会」が国分寺市から招待され、伝統ある農村歌舞伎を披露しました。

また、物産展では、毎年恒例となっている「活魚コーナー」が大賑わいとなり、佐渡から運ばれた活きのよいヒラメ、タコ、サザエ、ワタリガニなどが飛ぶように売れていました。

物産販売では、毎年8月に遠泳交流のため佐渡を訪れている「国分寺市水泳協会」のボランティアスタッフ約20名が、物産販売に協力してくださいました。



多くの人々で賑わう佐渡物産展



国分寺まつりで初披露された片野尾歌舞伎